

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	准教授	氏名	岩橋 宗哉
----	---------------	----	-----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

1992年 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程単位取得後退学。九州大学教育学部助手（心理教育相談室主任兼務）、緑風会水戸病院臨床心理士、久留米大学医学部神経精神医学講座助手を経て、2001年より福岡県立大学に勤務。

（1）現在まで、主に病院において精神分析的な心理療法を行ってきた。治療関係の中でクライアントの内的世界をともに体験しながら、対象関係論的な観点からクライアントの転移を理解し、その理解をもとにどのようにクライアントに関わり、理解を伝えていくことが治療的であるのかを明確にしていくことを最も重要な研究分野としている。（2）どのような立場に立つ心理療法であれ、クライアントが主体になることを援助している側面があると考え。主体的になることを援助するかかわりとはどのようなものか、つまり、多様な心理療法に共通する中核的なかかわりとはどのようなもので、それを現実に行っていくためにはどのような条件が必要かということをはっきりと明らかにしていきたいと考えている。それは、臨床心理行為を明確化することでもある。（3）臨床心理士養成の初期段階で、臨床心理行為の重要性と特性を習得するための養成モデルを構想していきたいと考えている。

## 2. 研究業績

### ① 最近の著書・論文

#### 著書

- ・門田光司・松浦賢長編著 西原尚之・岩橋宗哉・杉野浩幸・四戸智昭・吉岡和子・樋口善之・原田直樹・長谷川智子・渡辺龍彦・宮川治美・柴田陽子著  
「不登校・ひきこもりサポートマニュアル」 少年写真新聞社 2009年9月

#### 論文

- ・溝部祐香・岩橋宗哉「マインドフルネスの作用メカニズムと効果について—パースペクティブ・テイキング、自己関連づけとの関係から—」『福岡県立大学心理臨床研究』第4号 2012年3月
- ・岩橋宗哉「臨床心理行為の目標としての“体験の分化・統合”—治療関係との関連も含めて—」『福岡県立大学心理臨床研究』第3号 2011年3月
- ・岩橋宗哉「カップルの中のエディプス—生み出される思考とその機能—」『福岡県立大学心理臨床研究』第2号 2010年3月

### ②その他最近の業績

- ・築地瞳・岩橋宗哉「頻りに解離性の意識消失をおこす青年期女性の事例—「嫌」の表現としての解離を、リストカットを経て、自己表現へと促す関わり—」 第30回日本心理臨床学会 2011年9月4日 福岡国際会議場

### ③過去の主要業績

- ・岩橋宗哉・大崎知子「間主観的な場における体験の具体化とそれへの主観的妥当性確認について」『心理臨床学研究』第16巻第2号 1998年6月
- ・岩橋知子・岩橋宗哉「重度痴呆性老人の体験を共有しようとする試み—抱える環境としてのプレバーバルな関わり—」『心理臨床学研究』第17巻第1号 1999年4月

- ・岩橋宗哉「結合両親像によって破壊され創造される自己の方向感覚—精神分裂病者との心理療法過程から—」『心理臨床学研究』第17巻第6号 2000年2月

### 3. 外部研究資金

なし

### 4. 受賞

なし

### 5. 所属学会

日本心理臨床学会、日本精神分析学会、日本人間性心理学会

### 6. 担当授業科目

心身科学B・2単位・2年・後期、臨床心理学・2単位・3年・前期、演習・2単位、3～4年、通年、教育相談・2単位・4年・前期、卒業論文、6単位、4年・通年、臨床心理基礎実習・2単位・1年・通年、臨床心理学特論・4単位・1,2年・通年、臨床心理実習・2単位・2年・通年、心理臨床実習（施設）・1単位・2年・前期、特別研究・4単位・1～2年・通年、臨床心理学特論（看護学研究科）・2単位・1年・後期

### 7. 社会貢献活動

- ・九州大学発達臨床心理センター面接指導員
- ・久留米大学病院精神神経科付属カウンセリングセンター臨床心理士
- ・飯塚市要保護児童連絡協議会代表者
- ・飯塚市子どもなんでも相談事業専門相談員

### 8. 学外講義・講演

- ・教員免許状更新講習 教育の最新事情 「『子どもの心』をはぐくむための関わり方」講師 2011年8月24日
- ・NPO福祉用具ネット 「認知症の方へのかかわり方—心理臨床からの視点—」講師 2011年8月27日

### 9. 附属研究所の活動等

福岡県立大学心理教育相談室 室長